令和2年6月5日発行

学校だより　No.2

いしかわ

水戸市立石川小学校
とよた　まさゆき
校長　豊田　雅之

通常再開に思う

（※この文章は，HPのものを若干修正したものになります。）

いよいよ6月になり，火曜日には,午前中3時間ですが,学校が通常に戻りました。3月からの臨時休校は非常に長かったように思います。この間,教師として,何をしたら良いのか,何ができるのかと毎日悩みが尽きませんでした。オンライン全校朝会やオンライン授業に取り組んだのは,子どもたちと何とかして繋がっていたいという気持ちからのものでした。オンラインについては,ある程度の成功を得ることができました。これも保護者の皆様のご協力のおかげと感謝しております。

今後,第2波,第3波が来てしまっても,石川小学校はオンラインに挑戦したという実績があります。この自信をもとに,新型コロナウイルスに強い学校を作っていきたいと思っております。

また,5月30日（土曜日）付の読売新聞茨城版には,本校の取り組みとして「イバライガーポスター掲示」の記事が掲載されております。保護者の皆様からの温かいご支持があってこそのことです。本当に感謝しております。

「学校だより」は,4月当初に発行したままになってしまっていました。その間,学校HPでは，日々変化する学校の状況についてお伝えしてきました。新型コロナウイスルの影響下では,学校の状況や対応等が刻々と変化します。情報をよりスピーディに提供するため,今後も学校HPブログをどんどん更新していきたいと思います。校長からのメッセージも,随時発信していきたいと思います。

今後共よろしくお願いいたします。

日本教育新聞に，本校の取り組みが掲載されました　→

令和2年6月1日付「日本教育新聞」の7面に,本校の取り組みが掲載されました。

学校HPからPDFをダウンロードできますので，お読みいただければありがたいです。

※日本教育新聞より，記事転載の許可を得ております。

日本教育新聞　2020年（令和2年）6月1日（月曜日）

課題見つけ取り組む子へ　家庭学習を改善

宿題のドリル廃止
自学ノートを作成

関心事など見開きで整理
時間の目安「学年×10分」

水戸市立石川小学校

昨年度から家庭学習の在り方を変えた水戸市立石川小学校（豊田雅之校長、児童489人）。同校では「いしかわスタイル家庭学習」（自学ノートづくり）と呼び、子どもの自主学習を通じた自己肯定感の向上などがねらいだ。従来のドリル宿題は廃止。教育現場にも「働き方改革」が求められる中、昨年度と一昨年度の時間外勤務時間を比べると、最大約20時間の削減につながる取り組みになりそうだ。

子どもにアドバイスなどを行う豊田校長

超勤削減にもつながる

新構想を使い、作成した子どもの「自学ノート」

校長が率先し意識改革

教職員全員で，プール清掃

先日，先生方全員でプール清掃を行いました。定期検査のためです。先生方の努力できれいにしたプールですが，今年度は**水泳学習は中止**とします。楽しみにしていた児童の皆さんも多かったと思います。残念です。

スマホやタブレットで，←左のQRコードを読み取ると，石川小学校HPが開きます。

校長からのメッセージは，HPにある「校長室」アイコンをクリックしてご覧ください。

今後，「学校だより」でお伝えしてきた内容は，HPに移行していきます。ご理解いただきますようお願いいたします。